

宇都宮市立富士見小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・基礎基本の確実な定着	・朝の学習時における漢字や計算練習の実施、ステップアップシートの活用 ・AI型学習ドリルを活用した、個に応じた基礎的・基本的知識・技能の定着	・6年生の全ての教科の「知識・技能」「思考・判断・表現」で市の割合を上回っている。
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・各教科の見方・考え方を働かせる教師のコーディネート工夫 ・「何を学んだのか」を実感させることのできる振り返りの工夫 ・ICT機器の積極的、効果的な活用 ・各種学習調査の分析と指導改善	・「自分から進んで学習に取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合は、70.6%～91.1%と学年によって差が見られ、市の割合を上回っている学年と下回っている学年が3学年ずつだった。 ・「話し合いに自分から進んで参加している」に肯定的に回答した児童の割合は、70.6%～90.1%と学年によって差が見られたが、市の割合を上回っている学年が多かった。
・個に応じた指導の推進による学習意欲の向上	・興味、関心をもって取り組める学習課題の設定・教材の開発	・「勉強していて面白い、楽しいと思うことがある」に肯定的に回答した児童の割合は、80.2%～98.2%と学年によって差があった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・教科に関する調査から、基礎的な知識や技能は身に付いていることが分かるが、文章を記述する問題になると正答率が下がったり、無回答も増えたりしているので課題が残る。授業の中で自分の考えをもち、表現する時間を十分に確保していく。また、まとめや振り返りの際に、自分の言葉で学習したことをまとめたり、1時間の学びを振り返ったりする活動を充実させていくことで、児童の表現力を伸ばしたい。

・学習への興味・関心・意欲については、昨年度に比べ学習に対して面白い、楽しいと感じてはいるものの、学習に進んで取り組む行動力につながっていないことがうかがえる。次年度も個に応じた指導を推進したり、教材や授業展開の工夫をしたりすることで、引き続き学習意欲の向上に努めたい。